

小平市消費者団体連絡会

元気村まつりで消費者問題についての展示をした、初参加の団体取材しました。

小平市消費者団体連絡会（消団連）は昭和49年にできた歴史のある団体です。近隣市でも連絡会ができていますので、小平でもつくってほしいという市民の声からできたようです。現在は小平市消費生活センターがある市民課市民相談担当（市役所1F）に事務局があります。発足当時は合成甘味料の危険性、石油の闇カルテル、合成洗剤のカラダへの影響などの報道があった頃でした。

消団連に参加する条件は、消費者問題について活動している団体だということ。主に口コミで募っています。今年度は4団体、「生活協同組合 パルシステム東京小平委員会」「生活協同組合コープみらい東京 8ブロック委員会」「多摩きた生活クラブ生活協同組合 まち小平」「新日本婦人の会小平

支部」が参加しています。会議は毎月1回市役所で行われます（1、8、11月は休み）。参加されている方は組合で立候補した、長いこと参加しているなど、参加理由は様々です。年に2回、市役所1階ロビーほかで消費者問題についての展示をしています（消費生活パネル展 2024年3/11-15市役所1F受付横）。

元気村まつりでは「人と人が安心してつながり合う暮らし～次世代のためにできること～」というタイトルで、それぞれの組合で調べたことを展示物にしました。パルシステムは「おとなのためのがん教育」。コープみらいは「食べて未来へつなごう！日本の米作り・酪農」。生活クラブは「給食からつながる地域」。新日本婦人の会は「PFAS（有機フッ素化合物）水汚染問題を考える」。展示の内容を冊子にしたものと市の相談事例集「知らぬ間の契約トラブル」を配付しました。振り返りでは、「展示



▲左：生活クラブ
右：新日本婦人の会
パルシステム▶

場所が奥まっていたので会場の引き戸をはずすなど入りやすい工夫が必要だった」「行き方がわからず通りを何往復もした」「前日準備のとき駐車スペースがなくて不便だった」「生協と市からのお土産があってよかった」などの意見が出ました。担当課はまつり実行委員会へ意見を送ることとし、会議では来年度の元気村まつりにも参加しようということになりました。（谷）

DATA
連絡先●042-346-9607(市民課市民相談担当)

あすぴあ広報部会が取材しています。



コープみらいの展示 ▲



◀2023年こだキッズ
タウンのイベントの様子

こだキッズタウン

Co…… コミュニケーション
D………DIY 自分で考え、生み出す
A………アカウント お金の仕組みを知る
この3つの軸で子どもの笑顔があふれる街を目指した、子ども店長イベントを主に企画しています。人と人、人とモノ、人と地域をつなげていくのが目的です。

代表の細野雅之さんは「自分が子どもの頃、お金の仕組みを知らなかったので、息子には小さい時からお金の仕組みを意識させたい」と思っていました。共同代表の三宅歩美さんは以前、タウンキッチン（シェアキッチン）で焼き菓子を販売していて、「お祭りの時に工作が好きな娘が子ども店長のお店を出したら、面白いと思った」のがきっかけで子ども店長をやってみようと思いました。

その後、三宅さんの子ども縁日・細野さんのcodomoマーケットinこだいら、代表二人の考えが融合して、ひとつのイベントが2022年末に実現しました。「こだキッズタウン」としては2023年6月小平市中央公園でスタートしました。

子どもが販売するものは、ハンドメイドのもの・いらなくなっておもちゃは工夫することが条件（例えば、射的に



するとか、くじにするとか）だそうです。

はじめは人集めに苦労したそうですが、SNSで発信したり、友達から広まったりして、大勢の子どもたちが参加するようになりました。

当日の売上は“おこづかい”になります。将来、原価などのことも考えられるようになるのが理想だそうです。すでに「子ども店長」に慣れて、やりくりをする子もいるそうで、金銭感覚を養うことにもなっています。イベント開催日には、子ども同士の刺激もあって、子どもの成長が見られるようです。

親は準備などには、全面的に協力しますが、イベント当日は一切口出ししないのがルールだそうです。親にとっては難しいことかもしれませんが、イベント当日はキッチンカーなど大人の参加もあるそうです。（安）



DATA
子どもの参加費●500円
メール●codakidstown@gmail.com
インスタグラム●こだキッズタウン @codakidstown

シニアのための脳トレピアノ

昨年の10月に立ち上げ、12月に登録した新しい団体で、昨年の『むすぶ』にはまだ載っていません。何をやる団体か紹介するために団体窓口で講師の大滝さんを訪ね取材しました。

この団体の目的は、高齢化社会が進む中で、シニア世代の方々の音楽を通しての仲間づくりと脳の活性化を支援することです。

ピアノまたはキーボードを使用し、指使いに拘らない「フリーフィンガー奏法」を取り入れ指一本でも楽しく、気持ちよく演奏して欲しいとのこと。

例会は、月に1回か2回、中央公民館音楽室で開催予定です。1月26日に開催された本年最初の例会に参加させて頂きました。例会は以下の流れに沿って進めるそうですが、当日の参加人数や参加者のピアノ経験等を考慮して弾力的に進めるそうです。

- ①全員での近況報告
- ②アンサンブルやリズムゲーム等
- ③ソロ曲の時間
- ④振り返り・次回に向けてお話し等

この日の参加者は取材者を除き3名（うち2名はチラシを見ての初参加者）でしたが、講師の采配のもと腕や指を使ったリズム遊びやキーボードやピアノを楽しく演奏している様子を拝見出来ました。



1月最初の例会風景 ▲

大変良い雰囲気でした。講師に誘われて取材者の私も用意されたキーボードにトライしました。あっという間の楽しい1時間でした。

この団体の課題は活動して間もないため、まだ十分に周知がされておらず、独自開催した場合の参加者が少ないことです。「中央公民館にチラシを置き参加者の募集をしていますので、気楽に声をかけてください。お待ちしております。」（細）



◀あすぴあ元気村まつりの様子

会員募集チラシ ▼

DATA
参加費●1回 1000円
連絡先●042-346-3841(大滝)
メール●wkkws193@yahoo.co.jp